



「県民や市町村と『つながる』図書館として」

福島県立図書館長 佐久間 弘元

「教育と文化の振興を図る」図書館は、読書が未来を担う子どもたちにとって、学力や人間形成に重要な役割を果たしていることから、子どもの読書活動を推進していく上での中核的施設といえます。また、図書館は、高齢社会において生涯学習の支援施設としての役割も大きくなっており、児童から高齢者に至るまでの全世代にとっての存在意義から、地域の文化レベルに影響を与えているといっても過言ではないと思われます。

県立図書館の場合は、その果たすべき役割として、図書館が設置されていない町村の住民を含め、全県域をカバーした広域的なサービスの提供と、専門的な研究書に至る幅広い資料の収集や市町村立図書館職員のスキルアップのための研修機会の提供などの専門性の高い対応が求められています。まさに、【広域性】と【専門性】に着目した機能強化が期待されているのです。

そして、県立図書館は、すべての県民に対する直接サービスと市町村立図書館への支援を通じた間接サービスの双方により、全県での図書館サービスの向上を図らなければなりません。このため、福島県立図書館では、県民の「読みたい、知りたい、調べたい」ニーズに的確に応え、お役に立てる図書館として、次に掲げるように、県民の皆様や市町村と「つながる」活動を展開しております。

1 読みたい本と「つながる」

県民が希望する資料の収集や他の図書館との相互貸借により、読みたい本と「つながる」ことができます。

2 ふるさとの文化と「つながる」

福島県に関する郷土資料等を網羅的に収集しており、ふるさとの歴史や文化と「つながる」ことができます。

3 あらゆる情報と「つながる」

レファレンス(調査相談)・サービスやインターネットの利用等により、あらゆる情報と「つながる」ことができます。

4 県民と「つながる」

生涯学習の拠点として、公開講座の開催など、多様な学習機会を提供し、児童から高齢者に至る幅広い世代の県民と「つながる」サービスを提供します。

5 市町村と「つながる」

県内全体の図書館振興を図るため、資料や情報のネットワークの拠点として、市町村立図書館と「つながる」活動を推進します。また、避難指示区域における図書館の再開や図書館未設置町村の図書館開設等を支援します。

当館の現在の行動計画である「福島県立図書館アクションプラン(第2次)」は、今年度で5年間の実行期間が満了することから、これまでの取組状況を検証し、その結果を踏まえて次期計画を策定するため、現在、準備を進めております。新たな計画において、今後の基本的運営方針を定め、引き続き、県立図書館としての使命を果たしてまいりたいと考えておりますので、皆様のご意見等をお寄せください。